

特許紹介

第25巻第3號 昭和14年3月

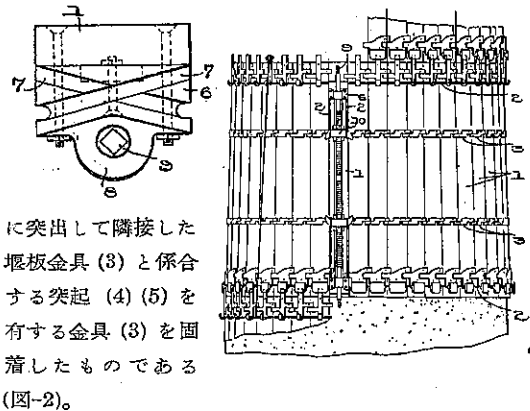
コンクリート煙突築造装置

(特許第 127299 號 發明者 唯 進三 特許権者 東洋コンプレツソル)

此の發明は、數多の堰板を円形に並列し之を緊縛して外側型となす従來の装置では、網を引締める時に堰板が傾斜又は移動して正確な円形とならない缺點を除去する爲に考案せられたものである。即ち堰板(1)に、網の兩端部附近を誘導すべき導溝(7)を交叉させて設けた誘導金具(6)を固定し(図-1 参照)、其の金具を通して螺杆(9)を定位置で回転するやう支承させ其の堰板に沿ひ摺動するやうに誘導せられた連結金具(10)に前記の螺杆(9)を旋通し、其の金具に設けた又狀兩翼に(13)(13') 網端部を捲いた後、翼間から引出し元網に捲絡させ且各堰板に之から兩側

図-1.

図-2.



に突出して隣接した堰板金具(3)と係合する突起(4)(5)を有する金具(3)を圍着したものである(図-2)。

コンクリート基礎及地階掘鑿法

(特許第 127302 號 發明者(特許権者) 武尾佐源次)

沈澱池に於ける沈澱物排出装置

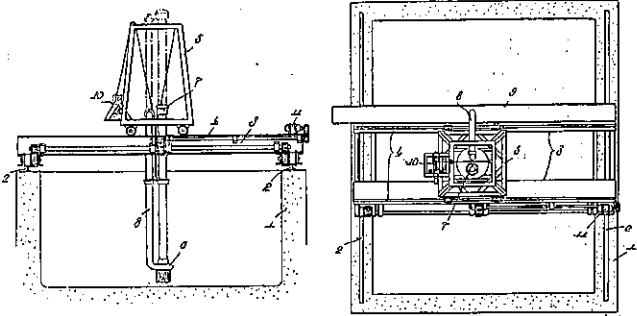
(特許第 127360 號 發明者 水野金雄 特許権者 合衆機械株式會社)

此の装置は沈澱池の底面に一度堆積した沈澱物を掻集める必要なく其の儘ポンプの移動によつて靜かに全面の沈澱物を抽出排除する型式のものである。即ち底を水平とした沈澱池の周壁上にレール(2)を自由に走行する基枠(3)を設け、基枠上には横方向にレール(4)を設け、此のレール上を走行する枠体(5)にポンプ(6)を装

置したものである(図-3,4)。

図-3.

図-4.



セメント防水劑の製造方法

(特許第 127368 號 發明者(特許権者) 金子大三郎)

此の發明はタールにクレゾール石鹼液の適量を混ぜ加温攪拌して溶解したものに可溶性石鹼のコロイド溶液を加へた乳化液にベントナイトを混和させて乳化粒子を懸垂させ更に金屬鹽類の水溶液又は金屬酸化物と水との混交液の適量を混合攪拌せしめる方法で、セメントとの親和力大で防水度高く而も稀釋度の大きな防水劑の發明を目的としたものである。

運動場構築法

(特許第 127387 號 發明者(特許権者) 立上省一)

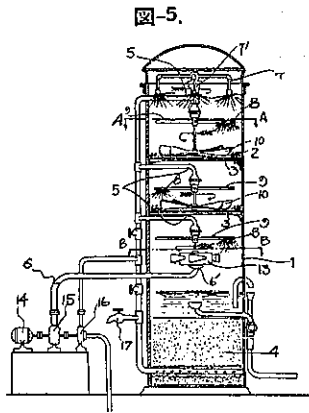
此の發明は、石炭殻を敷いた上へ有色の安山岩質凝灰岩を粉碎した石粉に等量の赤煉瓦粉粒を混和したものを適當の厚さ敷き、撒水して平坦に均らす運動場の構築法であつて、發明の目的は、粘土のやうに粘着せず又砂と異なり適度の可塑性があつて彈性強靱で水はけの良い運動場の構築に在る。

浄水装置

(特許第 127398 號 發明者(特許権者) 佐久間健一)

此の装置は図-5 に見るやうに濾過槽(4)の上部に數段に互り横に設けた金網上に熔岩碎石又は砂を薄く敷いた酸化槽(2)を形成し酸化槽の上方に數多の噴霧口を下向きに設けた管を放射狀に配置し、其の中央を中心として水の流通する勢により自働的に旋回する回転噴霧

器(7)を設け、回転噴霧器の下方及各酸化槽の下方に管(9)を配置し、其の噴射孔からの水の反動により回転する撹拌器(10)を之と一体的に結合し、最下部の管(9)の下端に筒形翼車(13)を固定し翼車の下面には送風管(6)の先端の喇叭口(6')を對向させて送



入空気を吸入して之を槽内に旋回放出するやうにしたもので、被淨化水の極微細化、空氣中の浮遊時間の延長及氣曝酸化の完全を図つたものである。

下水淨化方法

(特許第 127424 號
特許權者 せ、ドール、カムパニー インコルポレイテッド)

下水汚物泥渣の消化方法

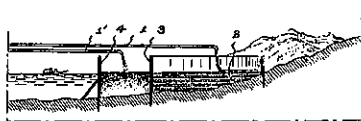
(特許第 127611 號
特許權者 同上)

埋立地盤の1部に特に堅硬層盤を形成する埋立方法

(特許第 127476 號及特許第 127477 號
發明者 鈴木 邦 特許權者 佐伯興之吉)

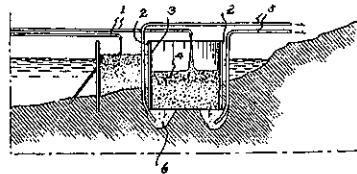
第1の發明は、浚渫船の吸上式浚渫機から送泥管を聯絡延長して所要の泥揚地に埋立を爲す際、豫め其の1部の所要面積を圍む輪廓の土地に周壁(3)を設け、之に浚渫吸上げたる砂に鑛滓コンクリート、石膏等を適宜の配合で混和し乍ら送泥管(1)で送り鑛滓層を重積固結させ、後更に周壁外の土地に送泥して埋立施工を完了する方法である(圖-6)。

圖-6.



第2の發明は、第1の如く鑛滓層を重積固結させて上方から堅硬層盤を構成すると共に、1方その下底周圍に吸上ポンプ(5)を挿入し附近の土砂を排出して前記の堅硬層盤を順次所要の深度迄下降させるものである(圖-7)。

圖-7.



遠方より多数の爆發裝藥に逐次點火する装置

(特許第 127706 號
特許權者 マルセル シュルンベルグ)

此の發明は、簡單有效に且危険の虞なくて多数の裝藥を遠方から逐次に起爆させる装置に關する考案で、爆發を制御する電気回路と、夫々特性を異にする複数の纖維(ファイラメント)例へば順次大きさを異にした纖維の各1つを發火させる裝藥を包有する複数の室の1つづゝに配置し、是等を上記の回路と直列をなさしめて架装したものとを包含し遠方から多数の爆發裝藥に逐次點火するやうにした装置である。

セメント混和劑

(特許第 127714 號
發明者(特許權者) 川上誠一郎)

此の發明は潤滑樹例へば山毛櫟及檜の木質部の水溶性物質に他の物質を加へ又は加へざるセメント混和劑に係り、發明の目的とする處は、特殊木工場の廢液を利用し其の極微量の混和によつてセメントの凝結及強度を良好にせんとするに在る。

濾水用濾過板製造法

(特許第 127769 號
特許權者 尾原大匠)

此の濾過板は石棉、綿花、木材、パルプ等の纖維に水酸化アルミニウムを浸潤させて抄製するもので、水中浮遊物の除去用として濾水能力良好且つ製作簡單廉價なる特長がある。

(附)登録實用新案

- | | | |
|---------------------|------------------------|------------------------------------|
| 組成鉄塔 | (第 259142 號
實用新案權者) | 公告 13 年第 10830 號
野澤一耶 |
| 試錐機 | (第 259827 號
實用新案權者) | 公告 13 年第 7225 號
日下部義太郎外 1 名 |
| コンクリート製中筒若しくは潜函構成装置 | (第 259805 號
實用新案權者) | 公告 13 年第 11198 號
大同コンクリート工業株式会社 |